

よこすか E C O 通信



第39号(令和2年12月)

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議

食品ロスとは？

「食品ロス」とは、本来食べられるのに捨てられている食品のことを言います。

日本では年間約600万トンの食べ物が捨てられ、そのうち約300万トンは家庭からのものです。日本人一人あたりに換算すると、年間約50kg、毎日お茶碗約1杯分（約140g）の食べ物が捨てられていることになります。

この数字を見て“もったいない”と思いませんか？

●出典：消費者庁「啓発用パンフレット／基礎編（令和元年10月版）」

https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/information/food_loss/pamphlet/pdf/pamphlet_191024_0001.pdf

なぜ食品ロスが出るの？



では、家庭から出る「食品ロス」の原因を見てみましょう。

家庭から出る「食品ロス」の原因は、大きく3つに分けられます。

1つ目は「**直接廃棄**」です。

食品を買いすぎて使いきれなかったり、消費期限をすぎて捨ててしまうことを言います。

2つ目は「**食べ残し**」です。

料理を作りすぎてしまったり、好き嫌いなどで残してしまうことを言います。

3つ目は「**過剰除去**」です。

野菜の葉っぱや皮をほかの料理に使えるのに捨ててしまったり、野菜の皮を厚く切ってしまうことを言います。

では、私たちはどのようなことに気を付ければいいのでしょうか？

実は・・・。そんなに難しいことはありません！

例えば、買いすぎをなくすために買い物に行く前に冷蔵庫の中を確認する、食べられる分の料理を作るなど、日常生活のちょっとした行動で「食品ロス」を減らすことができます。

家庭から発生する「食品ロス」を減らすためには、

“一人一人の意識を変えていくこと” が重要です！

食べ物への感謝の気持ちを忘れず、自分にできることを考えて「食品ロス」の削減に取り組んでいきましょう！



詳しくは、環境省HP…<https://www.env.go.jp/recycle/food/shiryou.pdf>

横須賀市食品ロス関係HP…「ごみ・リサイクル」のページ下部「食品ロスを減らしましょう！」のバナーから
<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4220/recycle/genryou/20171130.html>
をご覧ください。

2面は「冬の環境学習講座などのおしらせ」、3面は「令和2年度 横須賀いいね★エコ活動賞」
ほかのご案内、4面は「季節の自然図鑑」を掲載しています。

☆ HPは横須賀市HPから「E C O 通信」で検索。（カラー版でご覧いただけます！）

<https://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/4110/k-gakusyu/ecotushin/ecotushin.html>

冬の環境学習講座などのお知らせ

横須賀市自然・人文博物館

みんなの理科フェスティバル

「こどもからおとなまで、みんなが『理科』でつながる」をテーマに、小中学生から高校生・大学院生、研究機関・大学などの教員・研究員、市民などによる研究発表・講演会・実験ショーなどを開催します。

日 時 令和3年1月23日(土)・24日(日)
9:30~17:00

場 所 横須賀市自然・人文博物館
横須賀市文化会館3階

参加費 無料
入 場 自由



博物館教室

「横須賀ジオツアー(地層見学講座)」全4回

三浦半島の地球科学について解説し、横須賀市内の地層や岩石を野外で観察します。

日 時 令和3年2月13日、20日、3月6日、20日
土曜日・全4回 10:00~12:00

場 所 横須賀市自然・人文博物館本館講堂、野外

参加費 野外参加費 各回1人50円

定 員 20人(中学生以上)

締 切 1月23日(土)



★事前申込制

申込方法 締切日までに往復はがきに以下の事項を記入して、下記申込先へ

往信面①行事名②参加者全員(家族のみ)の住所・氏名・年齢・電話番号
復信面①参加者(代表者)の住所②氏名

申込先・問合せ先

横須賀市自然・人文博物館

〒238-0016 横須賀市深田台95番地

電話046-824-3688

E-mail: m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

休館日: 月曜日(祝日、振替休日の場合は翌日)

年末年始(12/28~1/4)

水辺公園友の会 自然観察会／早朝探鳥会

光の丘水辺公園は京浜急行「YRP野比」駅から京急バスで5分ほどの場所にある水と緑の自然豊かな公園です。空気の澄んだ午前中に公園内の植物や鳥・虫などの自然を観察します。

①自然観察会(雨天中止)

日 時 令和3年1月9日(土) 9:30~11:30

場 所 水辺公園管理事務所前に9時半集合

②早朝探鳥会(雨天中止)

日 時 令和3年1月23日(土) 7:00~8:15

場 所 水辺公園管理事務所前に7時集合

交 通 京浜急行「YRP野比」駅から京急バスの「野4 通信研究所」「野5 光の丘2番」「野6 光の丘2番」に乗り、「YRPセンター」バス停下車徒歩約3分(バス所要時間約5分)

※公園に駐車場はありませんが、近隣に民間の有料駐車場は多数あります。

参加費 無料

事前予約はありません。

当日集合場所へお集まりください。

問合せ先

光の丘水辺公園事務所

電話番号 046-849-7650

E-mail: mizube@ryokukazouen.jp

自然環境講演会

三浦半島のホタル

～ホタルが育んだ水辺の自然環境～

元横須賀市自然・人文博物館館長の林公義さんをお招きし、三浦半島に生息するホタルやホタルを守るための地域の活動が自然環境にもたらした影響についてお話いただきます。

日 時 令和3年1月23日(土) 14:00~16:00

場 所 横須賀市自然・人文博物館 講座室

参加費 無料

定 員 抽選50人

締 切 12月31日(木)

申込方法 横須賀市コールセンターまたはネット申込

・横須賀市コールセンター: 電話046-822-2500

・ネット:



問合せ先

横須賀市環境政策部自然環境共生課

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

電話046-822-9749

E-mail: ne-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

鷹取山自然観察会

冬を越す樹木を観察しよう

鷹取山自然観察会では原則として第二日曜日に観察会を行います。観察ポイントは季節ごとに鷹取山の植物・動物などを一緒に観察しています。初めての方もお気軽に参加ください。

日 時 1月10日(日)(雨天の場合は17日に延期)

追浜駅改札出口付近9時20分集合、12時までで現地解散です。

参加費 200円(保険料、資料代)

小学生100円、小学生未満無料

定 員 20人(先着順)

持ち物 メモ帳、鉛筆、飲み物、あれば虫眼鏡、双眼鏡

申込方法 住所、氏名、電話番号(保険加入のため)メールアドレスを記入して、メールでお申込みください。

なお、定員に達した場合はご連絡いたします。

小中学生は学年をお知らせください。

小雨程度は決行します。

申込先・問合せ先

鷹取山自然観察会

電話番号 090-4177-0164

E-mail: takatori_0721@nifty.com

「鷹取山自然観察会」と「水辺公園友の会」は第31回全国「みどりの愛護」のつどいで、国土交通大臣表彰を受賞した団体です。



令和2年度 横須賀いいね★エコ活動賞

横須賀市では、環境意識の向上や環境活動の活性化のため、市内の団体や学校等における「いいね★」と言える環境活動を「横須賀いいね★エコ活動賞」として表彰しています。

今年度は、学校等での1年以内の活動が対象の【学校短期活動の部】から1園、過去に横須賀ECO大賞（旧制度）を受賞してから4年以上経過し現在も継続中の活動が対象の【功労賞】から3団体の受賞が決定しました。

【学校短期活動の部】

社会福祉法人長岡児童福祉園会 長岡こども園

【功労賞】

NPO法人 横須賀港湾防災支援会

横須賀市立追浜中学校科学部

三浦半島「自然ふれあい楽校」



【学校短期活動の部】長岡こども園食品ロス削減賞
社会福祉法人長岡児童福祉園会 長岡こども園の活動紹介

食品ロスを少なくするために廃棄部分の工夫（皮を半分剥いていたナスの皮をそのままにする等）をしたり、「自分の食べられる量を知る」ということでバイキング形式を導入し、完食する喜びから食への意欲を育てています。



給食の
配膳の工夫

功労賞受賞団体の活動内容は次号でご紹介します

問 合 せ 先：横須賀市環境政策部環境企画課 電話046-822-8327

2021年・春 第32回全国「みどりの愛護」のつどい in横須賀

令和3年（2021年）春に開催される第32回全国「みどりの愛護」のつどいの開催地が横須賀市に決定しました。

●会 場 中央公園、横須賀市文化会館

●行事内容 「みどりの愛護」功労者への表彰、記念植樹等

全国「みどりの愛護」のつどいは、「みどりの日」制定の趣旨を踏まえ、全国の緑の愛護団体や保全団体などが一堂につどい、広く都市緑化意識の高揚を図り、緑豊かな潤いのある住みよい環境づくりを推進していくことを目的として毎年開催されています。



横須賀市が中核市に移行して20周年を迎える2021年は、全国でも先駆的となる「みどりの基本条例（旧：緑地条例）」の制定から50年の節目となります。

第32回全国「みどりの愛護」のつどいを、大切なみどりを将来に継承する象徴的な機会とし、三浦半島地域の“みどり”と“うみ”の豊かな自然の魅力や歴史文化を全国に直接発信していきます。



【公式】
Twitterアカウント
@yokosuka_midori

主 催：第32回全国「みどりの愛護」のつどい実行委員会（国土交通省、神奈川県、横須賀市）
問 合 せ 先：横須賀市環境政策部自然環境共生課 電話046-822-9982



横須賀市千駄ヶ崎の西方、県道212号久里浜港線沿いの野比海岸（写真1）では、活断層である北武断層（きたたけだんそう）と、新第三紀（しんだいさんき）の地層が観察できます。

北武断層は、三浦半島を西北西－東南東方向に横断する、活動度A級（m/1,000年のオーダー）の活断層です。北武断層と衣笠断層をあわせた衣笠・北武断層帯は、約1,900～4,900年に1回活動して地震を起こすこと、最後の活動が6～7世紀であったことがわかっています。野比海岸の北武断層はほとんどが砂浜やコンクリートにおおわれていますが、一部では断層運動によって生じた粘土（断層ガウジ）が見られ、その粘土にははんれい岩、玄武岩（げんぷがん）、石灰岩（せっかいがん）、蛇紋岩（じゃもんがん）などの岩石が取り込まれています（写真2）。これらは三浦半島ではめずらしい岩石で、北武断層の運動によって、地下からもたらされたと考えられます。この粘土はやわらかいので、この場所ではたびたび斜面変動が起こっています。

北武断層の北東側には、砂岩と泥岩のきれいなしま模様からなり、北東に70°～90°傾く地層が見られます。三浦層群逗子層（みうらそうぐんずしそう）で、約600万年前の新第三紀中新世（ちゅうしんせい）後期に深海でつくられた地層です（写真3）。

北武断層の南西側には泥岩からなる葉山層群（はやまそうぐん）が露出しています。泥岩には小さな断層がたくさん見られ、地層の向きや傾きはさまざまです（写真4）。微化石（びかせき）である放散虫化石（ほうさんちゅうかせき）の研究から、約1400万～1500万年前の新第三紀中新世中期につくられた地層であることがわかっています。

もっと詳しく知りたい方は

高橋直樹・柴田健一郎・平田大二・新井田秀一 2016.

葉山－嶺岡帯トラバース. 地質学雑誌, 122(8): 375-395.

（横須賀市自然・人文博物館 柴田健一郎）



写真1 野比海岸



写真2 北武断層の粘土(断層ガウジ)に含まれる蛇紋岩



写真3 三浦層群逗子層の泥岩と砂岩の互層



写真4 葉山層群の泥岩

みなさまからのECOな情報も募集してます。

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力: 横須賀市自然・人文博物館

(発行元) 〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課

TEL 046-822-8327 FAX 046-821-1523

E-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」は、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

